

ポーラ文化研究所発行の出版物『浮世絵にみる江戸美人のよそおい』（2017年初版）に誤りがございました。
お詫びして訂正いたします。

2022年4月 ポーラ文化研究所

【正誤表】

該当箇所	誤	正
p 4 5行目	小倉擬百人一首 六十番 小式部内侍	百人一首絵抄 六十番 小式部内侍
p 4 14行目	小倉擬百人一首 四十八番 恵慶法師	百人一首絵抄 四十八ばん 恵慶法師
p 5 11行目	譬論草をしへ早引 へ 邊	譬論草をしへ早引 へ 邊
p 6 13行目	げんじ今様絵巻 あらひ	げんじ今様絵巻 あふひ
p 17 1行目	小倉擬百人一首 六十番 小式部内侍	百人一首絵抄 六十番 小式部内侍
p 17 3行目	弘化4年	弘化～嘉永頃
p 17 5～7行目		以下に差し替え→「百人一首絵抄」は三代豊国による美人画の揃物で、本作では開いた冊子の右側に歌仙絵、左側に歌の解釈が書かれている。
p 35 1行目	小倉擬百人一首 四十八番 恵慶法師	百人一首絵抄 四十八ばん 恵慶法師
p 35 3行目	弘化4年頃	弘化～嘉永頃
p 35 5～9行目		以下に差し替え→「百人一首絵抄」は三代豊国による美人画の揃物で、本作では開いた冊子の右側に歌仙絵、左側に歌の解釈を記している。百人一首を画題とした浮世絵は多く描かれており、図様は歌人や作歌に関する挿話に拠った歴史画と、美人画や役者絵などに翻案した見立絵とに二大別される。三代豊国は見立絵を専らとし、本作でも描かれた美人と歌意との関係は明らかではない。
p 35 18～19行目		削除
p 59 3行目	弘化4年	弘化元～4年頃
p 71 1行目	譬論草をしへ早引 へ 邊	譬論草をしへ早引 へ 邊
p 71 3行目	天保から弘化頃	天保～弘化頃
p 71 7行目	譬論草をしへ早引 へ邊	譬論草をしへ早引 へ 邊
p 71 8行目	題字に	頭字に
p 71 9行目	^{いせお} 伊勢雄	^{いせを} 伊勢雄
p 71 14行目	譬論草をしへ早引	譬論草をしへ早引
p 101 1行目	げんじ今様絵巻 あらひ	げんじ今様絵巻 あふひ